

奈良市児童相談対応支援システム導入等事業における落札者決定基準

1. 評価の方法及び落札者の決定方法

本件は、事業者が保有するパッケージの差異が出る分野である。

また、IT費用が高額となることが想定されるため、適切な評価で事業者を選定する必要がある。よって、事業者の技術を重要視し、総合評価一般競争入札とする。

一般競争入札総合評価落札方式

「技術点」及び「価格点」の合計点数（以下「総合点」という）が最も高い者を落札者とする。「技術点」と「価格点」のバランスは3対1とする。入札者の獲得する「総合点」は、「技術点」と「価格点」の単純な和となる。なお、技術点が満点の60%未満の場合は失格とする。

また、審査委員が提案内容の審査及び採点を行う。

$$\text{総合点 (1, 600点)} = \text{技術点 (1, 200点)} + \text{価格点 (400点)}$$

2. 調達に関わる役割

本調達では、提案書やプレゼンテーションの審査を行う審査委員、落札者決定基準の適切性を確認する学識経験者、事業者の実績を確認する事務局が関与する。

	役割	内容
1	審査委員	事業者が提出する提案書及びプレゼンテーションを審査する。
2	学識経験者	落札者決定基準の適切性を確認する。
3	事務局	提案書の導入実績及び機能の実装を採点する。調達のための資料準備や調達時における事業者とのやり取り、取り纏め等を行う。

3. 技術の評価

技術評価として、「提案書」、「プレゼンテーション」を総合的に判断する。審査工程ごとに審査者及び評価項目を定め、提案内容を評価して「技術点」を与える。

(別紙5)

	審査工程	内容	点数配分	点数
1	提案書審査	・審査委員毎に提案書を審査する。導入実績及び機能の実装（機能要件）は、事務局にて審査する。 ・技術点全体の80%を配点する。	80%	960点
2	プレゼンテーション審査	・提案書審査を補完する目的で行う。 ・プレゼン審査は審査委員が行う。 ・技術点全体の20%を配分する。	20%	240点
合計			100%	1,200点

4. 価格の評価

本調達では技術評価を重視することから、価格点は基礎点と入札額に応じた配点を合算して算出する。

$$\text{価格点} = \text{基礎点 (120点)} + \frac{280\text{点}}{280\text{点}} \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$$

基礎点は、入札額（環境構築費用、利用端末・ネットワーク回線の賃貸借費用、システム運用保守・システム活用支援費用の合計）が予定価格の範囲内である場合に、価格点の30%（小数点以下切捨て）を配点する。

入札額（環境構築費用、利用端末・ネットワーク回線の賃貸借費用、システム運用保守・システム活用支援費用の合計）が予定価格を超える場合は、失格となる。

5. 点数配分

(1) 総合点における配分比率

$$\text{【総合点】 技術点：価格点} = 3 : 1$$

$$\text{【技術点】 提案書審査：プレゼンテーション審査} = 8 : 2$$

$$\text{【価格点】 基礎点＋入札額に応じた配点} = 3 : 7$$

上記から、審査工程毎の点数配分は以下のとおりとなる。

	工程	工程別配分比率	審査別配分比率
1	技術審査：提案書審査	60%	75%
2	技術審査：プレゼンテーション審査	15%	
3	価格審査：基礎点	7.5%	25%
4	価格審査：入札価格に応じた点数	17.5%	

(別紙5)

技術審査は、審査基準に基づいて審査員が採点をし、その平均として算出する。
※小数点第一位を切捨てる。

6. 提案書審査における章立毎の配分

提案書審査項目と配点は、以下のとおりである。

	分類	配点	主な記載依頼項目
1	提案の基本方針	140点	・本調達の背景・目的に対する提案者の理解 ・提案システムの構成 ・業務の効率化・職員の負担軽減 ・構築スケジュール
2	実施体制	130点	・構築作業の体制、保守運用体制、活用支援体制
3	導入実績	40点	・地方自治体での導入実績・契約実績
4	プロジェクト管理	60点	・進捗管理、課題管理、コミュニケーション管理について ・リスク管理について ・品質管理について
5	機能の実装*1	310点	・機能要件
6	機能改善方法	80点	・将来的なパッケージの機能拡張やバージョンアップの実施方法 ・将来の稼働環境に関する考え方 ・将来的なAIの活用方針
7	データ連携	20点	・データ連携作業内容、役割分担、スケジュール、検証方法、ポイント
8	非機能要件	130点	・可用性、性能・拡張性、運用・保守性 ・SLAの考え方 ・バックアップ ・セキュリティ要件の基本的な考え方
9	追加提案	50点	・追加提案（無償） ・追加提案（有償）
	合計	960点	

*1 機能の実装：パッケージ対応状況に応じた配点を行う。

(別紙5)

7. プレゼンテーション審査

(1) プレゼンテーション審査の考え方

- ・プレゼンテーションは、プロジェクト責任者もしくはプロジェクトリーダーが行う。
- ・プレゼンテーションは、提案書と一致した内容で行う。
- ・プレゼンテーション審査は審査委員が行うが、提案書を補完する目的で行うため、提案書不明点に関する質問が行えるように準備する。

(2) プレゼンテーション審査の評価項目

プレゼンテーション審査項目は、以下のとおりである。

	評価の視点	評価内容
1	提案書との整合性	提案書の内容と整合性がとれているか。
2	論理性（一貫性）	説明が論理性をもってなされているか。ブレがなく、一貫しているか。
3	質疑応答における回答の明確性及び有益性	本市の質問に対する回答が明確かつ適切か。 提案書の内容と異なる回答はなく、一貫した回答か。 提案書の内容と異なる場合であっても、本市にとって有益な回答か。
4	取り組み姿勢	本市と協力して、プロジェクトを成功に導く意思が見えるか。 事業者側の体制に一体感があり、しっかりと取り組める姿勢があるか。

以上